令和７年度「知的財産活用サポートセンター業務」

～ 弁理士による知的財産授業 ～
「工業における知的財産の基礎知識」in 宮古商工高等学校

１．日時　令和７年８月２１日（木）　１３：４０～１５：３０

２．主催　(一社)岩手県発明協会

３．宮古商工高等学校　工業校舎
（岩手県宮古市赤前 1-81　）

４．講師　野崎　俊剛　弁理士（日本弁理士会東北会）

５．出席者　工業系１年生（全科）約５０名（教職員も含む）

６．内容
① 講演：座学授業　テーマ「工業における知的財産の基礎知識」
② 演習:「身近なものを調べてみよう！こんなところに発明が！？」※日本弁理士会からのノベルティ「ユニボールシグノ」の発明がどんなところにあるか？また、同じボールペンでも他のペンとはどこが違うか？全員で特許情報プラットフォームにより調査をする。先行技術調査でどんなことが分かるか、発明や特許の構成要素・調査の必要性を学ぶ。

７．所感
①講演（座学授業)、②演習ともに、参加者が熱心聞いていた。座学授業は比較的簡単な内容とし、演習は実施に販売されているペンを用いて検索に繋げるようにした。特に演習は興味をもってもらえたようである。

文責　日本弁理士会東北会　野崎　俊剛